



秋冬野菜の病害にご注意！

キャベツの菌核病は
これから発生が多くなります

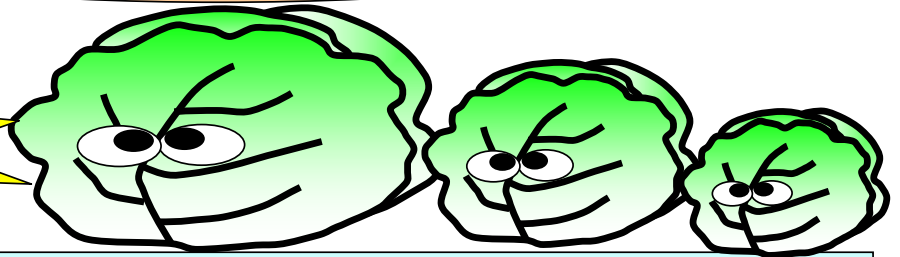


キャベツの菌核病菌は

5~10℃の低温下でも活動します

傷口からも侵入して病気を引き起こしますので
あらかじめ農薬を散布するなどして菌の侵入を阻止しましょう

対策！



その1

発病株は隣の株の伝染源にもなります
また、菌核は翌年の伝染源になりますので
発病株を見つけ次第、圃場外へ持ち出し、適切に処分しましょう

その2

キャベツ菌核病は
発病してからの農薬散布では効果が低くなりますので、
下記薬剤などを参考に**予防的な防除**を心がけましょう
菌は弱った下葉から入りやすいので
展着剤を加えて薬液が下葉までかかるようにたっぷりかけましょう

平成24年9月26日現在

系統名	薬剤名	予防効果	治療効果	浸透性	希釈倍数	使用時期 (収穫前日数)	使用回数
ベンゾイミダゾール	ベンレート水和剤	○	○	○	2000倍	7日前	6回以内
ジカルホキシミド	ロズラール水和剤	○	△~○	×~△	1000倍	7日前	4回以内
ベンジルカーバメート	ファンタジスタ顆粒水和剤 <small>新発売</small>	○	○	○	2000~3000倍	14日前	3回以内
アニト	カンタストライフフロアブル	○	○	○	1500倍	7日前	2回以内

- 農薬の使用にあたっては、ラベルの表示事項を守りましょう
- 薬剤感受性低下を避けるため、同一系統薬剤の連用はさげましょう
- 農薬の散布にあたっては、他の作物への飛散防止に努めましょう
- 農薬散布後は、防除器具のタンクやホースも洗いもれがないようにしましょう